

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅴ			科目コード	51061502	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	3年	前期	66	4	無
授業の概要・目的	子ども福祉に携わる者として必要な専門知識はもとより、社会人として基本的な社会常識や語彙・読解力、ビジネスマナー、コミュニケーション能力が必要となってくる。これまでビジネス実務Ⅰ・Ⅱで培ってきた以上の知識を習得することを目的とし、より実践的な授業を行う。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの中で自分の意見や考えを述べ、1つの答えとして意見をまとめ発表できる。 ・社会人として必要なマナー・礼儀を身に付け、就職活動や実習に活かす。 ・文章を読み解き、自分の意見を述べることができる。 					
評価項目	筆記試験70%、提出物25%、出欠5%					
評価基準	提出期限、試験にて理解度を図る					
担当教員	伊丹 稔博			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	<p>これだけは知っておきたい保育のマナーと言葉 第二版 わかば社</p> <p>これだけは知っておきたい保育の基本養護 第二版 わかば社</p>					
関連科目						
授業計画	個人目標の設定、クラス活動、社会人常識、語彙・読解力演習、グループワーク、マナー、言葉、保育語彙の向上、敬語の使い方					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	青年心理学			科目コード	51051601	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	3年	前期	30	2	無
授業の概要・目的	自己を意識し、自己を知ること、現在の自分、過去、未来の自分について考え自己形成を行う。また、青年心理学を学び対人関係について考え、現場で生かすことができるようにする。					
到達目標	自我の確立とともに他者の気持ちを考えることができる					
評価項目	前期試験(40%)、提出物、レポート(55%)、出席率(5%)					
評価基準	提出期限、試験にて理解度を図る					
担当教員	伊丹 稔博			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	よくわかる青年心理学 ミネルヴァ書房 授業單元ごとに別紙資料を教師から配布					
関連科目						
授業計画	アイデンティティとは、青年とは、青年の身体発達、家族関係が自立に与える影響、青年期の特徴と友人関係の影響、青年心理学における思春期の心理的葛藤、デジタルの活用、コンプレックスと自己受容、引きこもりの対応、ストレスと対応法、大人になるとは、年代別から見る将来像、分離と統合について、我が国における青少年の動向、 中間確認テスト、レポート解説					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	保育・教職実践演習			科目コード	51054637	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	3年	後期	30	2	無
授業の概要・目的	保育士、幼稚園教諭として必要な専門知識及び技術、幅広く深い教養及び総合的な判断力、専門職としての倫理観などが習得されたかを、履修カルテの作成を通し、自らの学びを振り返り把握する。さらに自己課題を明確にし、保育の実践に際して必要となる基礎的な資質・能力を定着させる。					
到達目標	保育士・幼稚園教諭として必要な知識・技術の中で、自己課題を把握する。その上で、目指す保育者像や今後の取り組むべきことの内容と具体的方法などを具体化する。					
評価項目	期末試験(プレゼンテーション)60%、提出課題35%、出欠席5%					
評価基準	完成度、期限等にて成績を付ける					
担当教員	多久和 直樹			常勤		
実務経験者による授業	実務経験:保育士として、さらに保育士養成校にて教師として10年従事。保育所を開園し、園長として、子どもひとりひとりの「学びたい」気持ちを育む保育を展開している。この経験と知識をもとに実践的な指導を行う。					
テキスト・参考文献	履修カルテ 保育・教職実践演習(ミネルヴァ書房) 保育・教職実践演習 保育者に求められる保育実践力(建帛社)					
関連科目	教育実習指導、保育実習指導					
授業計画	履修カルテ、自己課題作成、保育者の役割、保育・教職の意義と職務内容 子どもや保護者との信頼関係の構築、ロールプレイ、反省・評価、実習成果と課題					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	教育実習指導Ⅱ			科目コード	51018701	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	3年	通年	20	1	無
授業の概要・目的	前年度の教育実習で見つけた課題や反省を活かしながら教育者としての資質、知識、技術向上を図る。観察記録の作成や指導計画の立案方法をさらに深め、実践することで、活動に即した指導方法や言葉かけ等を身につける。また、教育実習後に振り返り、課題を明確にし、社会に向けてのスキル向上に努める。					
到達目標	課題や反省を活かし、人前ですることに慣れ、実技実践を行っていく。発達段階を理解し、年齢に即した遊びや援助を考える。遊びや活動をより多く立案し、遊びのレパートリーを増やし実践を行う。教育実習において年齢に合わせた立案、実践を行い、より現場で使える知識、スキルを身に付ける。実践からの評価の観点を学ぶ。学生最後の教育実習での振り返りから、反省考察を互いに共有し、現場に役立つ立案、情報を共有し発表する。					
評価項目	指導計画の立案、提出(50%)模擬保育などの実技実践(45%)、出欠席(5%)で総合的に評価する。					
評価基準	完成度、期限等にて成績を付ける					
担当教員	吉岡 さなゑ			非常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領 文部科学省 ・教育実習の手引き 					
関連科目						
授業計画	教育実習反省、考察から保育立案をする。実践で使える年齢別の手遊びを実践する。ねらいと内容について。年齢別の遊びの考察について学ぶ。自分で考えた立案を実践、考察、反省を行う。。教育実習の振り返りについてのプレゼンテーション					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	プレゼンテーション技法			科目コード	51013701	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	前期	30	2	無
授業の概要・目的	プレゼンテーションの基礎的な知識と方法を学ぶ。その後、設定されたテーマに基づき、視覚資料を作成する。実際にクラス内で中間プレゼンテーションを行い、相互評価をし、最終発表を行う					
到達目標	実社会において必要なプレゼンテーション力を身に付けるための授業である。コミュニケーションが重視される社会において、人前で話すという行為は避けて通ることができない。この授業を通してプレゼンテーションの基本的な知識と技術を伝え、実践する機会を設けることでプレゼンテーション力を身に付けていく。					
評価項目	プレゼン発表、提出物(50%)、期末試験(45%)、出欠席(5%)					
評価基準	完成度、期限等にて成績を付ける					
担当教員	浅野 文章			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	プリント配布					
関連科目	パソコン実務					
授業計画	導入 プレゼンテーションの基本知識・技術、パワーポイント作成。 口頭発表の練習、中間発表 プレゼンテーション準備 最終発表、まとめ					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	音楽Ⅲ(ピアノ)			科目コード	51018801	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	前期	30	2	無
授業の概要・目的	<p>音楽Ⅰ、Ⅱで学んだ表現法を発展させ、子どもの感性の発達に役立つ音楽的表現を身につける。</p> <p>ピアノ伴奏及び弾き歌いの更なる技術向上を目指す。</p> <p>コードネームを見て伴奏が弾けるよう、伴奏法も学ぶ。</p>					
到達目標	<p>保育者・教育者として必要なピアノ技術、弾き歌い技術を習得する。</p> <p>コードネームに慣れ、子どもの歌に寄り添った伴奏がつけられるようにする。</p>					
評価項目	確認テスト(65%)期末テスト(20%)授業態度(10%)出席(5%)					
評価基準	随時確認テストを行い、熟練度を図る。					
担当教員	井上 美樹			非常勤		
実務経験者による授業	実務経験:音楽大卒業後30年以上、音楽教室講師として幼児から大人まで、ピアノ、電子オルガン、リトミック、音楽理論、幼児指導法等を教えている経験を活かし、保育の現場で役に立つ技術力と実践力を養う					
テキスト・参考文献	<p>「音楽(ピアノ教本)」「音楽(声楽教本)」近畿大学九州短期大学</p> <p>「子どものうた 100」チャイルド本社</p>					
関連科目	音楽Ⅱ					
授業計画	<p>童謡の弾き歌い 課題曲の暗譜、実技</p> <p>※それぞれ音楽Ⅰ、Ⅱで学んだ内容から個人の進行度を確認し、個人目標を設定して実施していく。</p>					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	音楽Ⅲ(器楽・声楽)			科目コード	51018901	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	後期	30	2	無
授業の概要・目的	保育現場で使用される楽器の演奏法、声楽の発声法、歌詞の理解等を学び、子どもの発達に応じたより高度な指導が出来るようにする。					
到達目標	子どもが園で使用する様々な楽器の演奏法を習得し、合奏する。童謡、合奏曲、合唱曲にふれながら、曲に合った指導法を身につける。					
評価項目	確認テスト(65%)期末テスト(20%)授業態度(10%)出席(5%)					
評価基準	随時確認テストを行い、熟練度を図る。					
担当教員	井上 美樹			非常勤		
実務経験者による授業	実務経験:音楽大卒業後30年以上、音楽教室講師として幼児から大人まで、ピアノ、電子オルガン、リトミック、音楽理論、幼児指導法等を教えている経験を活かし、保育の現場で役に立つ技術力と実践力を養う					
テキスト・参考文献	「音楽(ピアノ教本)」「音楽(声楽教本)」近畿大学九州短期大学 「子どものうた 100」チャイルド本社					
関連科目	音楽Ⅱ					
授業計画	合唱の曲の選定方法、楽曲の決定、アンサンブル、合奏のティン亭方法、楽曲の決定、合唱、合奏、アンサンブル等の指導方法合唱、合奏の実技練習、合唱、合奏の発表					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	保育実技			科目コード	51014501	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	3年	通年	30	2	無
授業の概要・目的	学んだ知識や保育実習・教育実習で培った現場力をベースに、保育・幼児教育の現場に必要なスキルにより一層磨きをかけ、保育・幼児教育の現場での即戦力となれるような技術力を身につけることを目標とする。					
到達目標	あそびの指導計画を立案し、実践を行い、保育者の援助の視点を身につける。保育実習、教育実習に向け、準備をしていくことで、実習で様々なことに挑戦できる姿勢を養う。現場での必要なスキルとして、いつでも子どもにあそびを提供できるようにする。素話を作り、実際に行うことで、言葉での表現力を身につける。連絡帳の役割を知りポイントを学んだうえで、保護者に対しどのような配慮が必要か、文章の伝わり方等考え、表現力、文章力を養う。クラスだよりの作成ポイントを理解し、保育者の視点をもったクラスだよりを作成できるようにする。保護者対応に対して、気を付けなければならないポイントを把握する。					
評価項目	前期試験 実技30%、課題45% 素話20%、出席5% 後期試験 課題45%、出席5%、実技50%					
評価基準	完成度、期限等にて成績を付ける					
担当教員	吉岡 さなゑ			非常勤		
実務経験者による授業	実務経験：公立保育所において保育士・主任保育士・副園長・園長として勤務し、40年間保育にあたる。保育現場で、子ども理解、保護者支援、子どもを取り巻く環境等に関する知識を深めると共に対応力を要する経験を数多く積んだ。					
テキスト・参考文献	保育所・幼稚園完全マニュアル、子どもがこっちをむく言葉かけ					
関連科目	保育教養Ⅱ					
授業計画	絵本ノートの作成、保育者の活用教材を作成する、製作の実施、子どもがすぐに興味を持つ簡単遊び(年齢別)、素話の作成と実践、連絡帳の目的・役割と書き方のポイント、保護者に関心を向けてもらえるクラスだよりの作成、難しい要求をする保護者対応のロールプレイング、遊びの実践、保育者とは					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	卒業制作			科目コード	51011501	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	通年	145	4	無
授業の概要・目的	保育に関して学んできた知識や技術、実習で培った現場力の集大成として、1つの舞台を全員で手掛け、子どもたちの前で発表する。保育・幼児教育の現場に必要なスキルにより一層磨きをかけ、即戦力となれるような技術力やコミュニケーション力、協調性を身につけることを目的とする					
到達目標	観客(子ども)の対象年齢(発達)に合わせた題材を選び、決定する。各役割でストーリーの前半に必要なものを作り終える。前半の通し稽古を終え、後半に向けて自分たちの課題を明確にする。各役割でストーリーの後半に必要なものを完成する。後半の通し稽古、全体の通し稽古を行う中で、子どもの前に立つことを意識した目標・課題を明確にする。発表本番を迎え、子どもたちの反応を感じながら表現する楽しさを味わう。また発表を終えて、保育現場に出ることを視野に入れた自分の課題を見つける。					
評価項目	前期:制作物、レポート95% 出席5% 後期:レポート70% 演技25% 出席5%					
評価基準	完成度、期限等にて成績を付ける					
担当教員	伊丹 稔博			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献						
関連科目						
授業計画	目的理解、本部運営方針 テーマ、目的、内容の決定、運営方針、ストーリー共有、配役決め 役割で作業、前半通し稽古、進捗確認、報告、後半のストーリー共有、各役割での作業 後半通し稽古、招待準備、リハーサル、まとめ					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	卒業研究			科目コード	51011601	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	後期	55	3	無
授業の概要・目的	自分の探究したいテーマを設定し、研究計画をたて情報を収集し整理する。 各自の研究を進めレポートにまとめる。グループで研究結果を発表する。					
到達目標	興味のあるテーマを設定し、研究計画をたてる。情報を収集し整理し、考察する。各自の研究結果をもとに、グループでテーマを設定し、研究を進める。最終的にその成果を発表する。					
評価項目	レポート40%、発表内容40%、提出物15%、出席 5%					
評価基準	完成度、期限等にて成績を付ける					
担当教員	伊丹 稔博			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献						
関連科目						
授業計画	個々の研究に使う書籍					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	保育教養Ⅱ		科目コード	51014201		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	3年	通年	30	2	無
授業の概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・他科目で習得した知識や技能、実習で体験したことを基盤として、保育を総合的に関連付け保育実践に生かす力、応用力の向上を目指す。 ・社会人としての必要な知識、能力、考え方、豊かな人間性、人間力の向上を目指す。 ・関わる相手は「感情のある人間」である、円滑な関わり築き方を学ぶ。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・他科目で習得した知識や技能、実習で体験したことを基盤として、保育を総合的に関連付け保育実践に生かす力、応用力の向上を目指す。 ・社会人としての必要な知識、能力、考え方、豊かな人間性、人間力の向上を目指す。 ・保育者としての専門性、人間性を身につけると同時に、将来像を描きながら保育への魅力が高まり意識が向上する。 					
評価項目	振り返りレポート 50% 保育実践 30% 課題提出 15% 出欠 5%					
評価基準	完成度、期限等にて成績を付ける					
担当教員	吉岡 さなゑ		非常勤			
実務経験者による授業	実務経験：公立保育所において保育士・主任保育士・副園長・園長として勤務し、40年間保育にあたる。保育現場で、子ども理解、保護者支援、子どもを取り巻く環境等に関する知識を深めると共に対応力を要する経験を数多く積んだ。					
テキスト・参考文献	保育のデザイン					
関連科目						
授業計画	実習Ⅱに向けての心構え 指導案について、教材作製、模擬実習、玩具作成、模擬実習、模擬実習、まとめ 保育のデザイン、保育の心、子どもの心の読み取り 週指導案について、保育園模擬演習					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	保育者論			科目コード	51019401	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	3年	通年	30	2	無
授業の概要・目的	<p>子どもの心を育てる保育士として保育士自身の人間力を育てることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な人の保育観、教育観、子ども観、福祉観を学ぶことを通して自分の『考え』をもつ。 ・実際の保育現場での諸問題について学び、自分自身の果たす役割について考える。 ・働く意味、協働とは何かを考え、自分自身の将来を導きだす。保育者としての思考の習慣をもつ。 					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人としての基本的な考え方、マナーを理解し社会人としての知識や意識を持つ。 ・他者の考え方に触れる経験を通して自分の意見や考えを主体的にもつ。・実践演習を通して「子どもの心を読み取る」読み取り方を理解する。 ・自分なりの保育観、教育観、福祉観をもち表現できる。 					
評価項目	試験80%、提出物15%、出欠5%					
評価基準	提出期限、試験にて理解度を図る					
担当教員	多久和 直樹			常勤		
実務経験者による授業	実務経験：保育士として、さらに保育士養成校にて教師として10年従事。保育所を開園し、園長として、子どもひとりひとりの「学びたい」気持ちを育む保育を展開している。この経験と知識をもとに実践的な指導を行う。					
テキスト・参考文献	保育所保育指針、幼稚園教育要領、教育・保育要領 保育者論 ミネルヴァ書房					
関連科目	保育教養Ⅱ					
授業計画	人としての基本的な考え方、マナー、社会人としての保育士として求められている視点、知識、他者理解の必要性について、自分の意見、考えの伝え方。実践、演習を通して「子どもの心を読み取る」読み取り方を知る。自分なりの保育観、教育観、福祉観をもち表現できる。保育施設の種類を学び、働く施設として自分自身の適性を見極めていく					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	保育時事 I			科目コード	51061001	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修講義	3年	前期	40	2	無
授業の概要・目的	近年の保育の情勢を踏まえ、自分なりの課題を設定しレポートにまとめる。 情勢から見える課題に対して問題提起できる。					
到達目標	「保育実習」や「講義」を通して学んだ知識や体得した内容をもとに、実際の問題について考察及び今後の課題について明確にするとともにレポートにまとめることができる。					
評価項目	①講義に対する受講態度15% ②それぞれの問題に対する考察や発表(プレゼンテーション)50% ③最終試験(レポートの作成)30% ④出欠席 5%					
評価基準	完成度、期限等にて成績を付ける					
担当教員	伊丹 稔博			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	参考文献:それぞれ該当科目の文献を参考にまとめること。 また、講師より適宜資料の配布を実施する。 ※近々の新聞なども適宜活用すること。					
関連科目						
授業計画	保育とは、時事とはなにか 文章の読み取り テーマ選択(日本の時事より)、問題の洗い出し 中間発表(プレゼン) 改善案 発表、振り返り まとめ					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	保育時事Ⅱ		科目コード	51061101		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修講義	3年	後期	40	2	無
授業の概要・目的	最近の保育の情勢を踏まえ、自分なりの課題を設定しレポートにまとめる。 保育時事Ⅰで見えた課題について、海外まで視点を広げ、子どもを取り巻く環境について理解し、提案ができるようになる					
到達目標	「保育実習」や「講義」を通して学んだ知識や体得した内容をもとに、実際の問題について考察及び今後の課題について明確にするとともにレポートにまとめることができる。					
評価項目	①講義に対する受講態度15% ②それぞれの問題に対する考察や発表(プレゼンテーション)50% ③最終試験(レポートの作成)30% ④出欠席5%					
評価基準	完成度、期限等にて成績を付ける					
担当教員	伊丹 稔博		常勤			
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	参考文献:それぞれ該当科目の文献を参考にまとめること。 また、講師より適宜資料の配布を実施する。 ※近々の新聞なども適宜活用すること。					
関連科目						
授業計画	保育とは、時事とはなにか 文章の読み取り テーマ選択(日本の時事より)、問題の洗い出し 中間発表(プレゼン) 改善案 発表、振り返り まとめ					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	保育時事Ⅲ			科目コード	51061201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	選択必修講義	3年	後期	40	2	無
授業の概要・目的	<p>保育とは何か、時事とは何かを学び、身近にある子どもを取り巻く問題について調べ、考察を実施する。</p> <p>(今まで学んできたものから、最も現在の保育における問題点をピックアップし、それぞれの意見を持ち寄りながら、再考する。そして、課題と支援の方法など実際にできることをプレゼンテーションする。)</p> <p>社会における一般時事も踏まえ、制度や行政の仕組みを学ぶ。</p>					
到達目標	「保育実習」や「講義」を通して学んだ知識や体得した内容をもとに、実際の問題について考察及び今後の課題について明確にするとともにレポートにまとめることができる。					
評価項目	<p>①講義に対する受講態度15%</p> <p>②それぞれの問題に対する考察や発表(プレゼンテーション)50%</p> <p>③最終試験(レポートの作成)30%</p> <p>④出欠席5%</p>					
評価基準	完成度、期限等にて成績を付ける					
担当教員	伊丹 稔博			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	<p>参考文献:それぞれ該当科目の文献を参考にまとめること。</p> <p>また、講師より適宜資料の配布を実施する。</p> <p>※近々の新聞なども適宜活用すること。</p>					
関連科目						
授業計画	保育とは、時事とはなにか。文章の読み取り。テーマ選択(世界の時事より)、問題の洗い出し、中間発表(プレゼン) 改善案、発表、振り返り、まとめ					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	施設実習指導		科目コード	51054633		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	3年	前期	40	2	無
授業の概要・目的	1. 保育実習の意義・目的を理解する。 2. 実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。 3. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 4. 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。 5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。					
到達目標	実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。実習日誌等の記入方法等に関わる知識を身に付ける。					
評価項目	課題提出(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	完成度、期限等にて成績を付ける					
担当教員	伊丹 稔博			常勤		
実務経験者による授業	実務経験:大学卒業後、介護施設(7年)、障がい者施設(3年)にて、直接介護、サービス管理提供責任者としての経験を活かし、法制度、虐待児への対応、家族への支援等の講義を行い、実習指導を行う					
テキスト・参考文献	施設実習の手引き(岡山県保育士養成協議会) 施設実習ガイド 保育士として成長するための事前事後学習(駒井 美智子) 施設実習パーフェクトガイド(守 巧)					
関連科目	子ども家庭福祉					
授業計画	施設実習の意義、施設の役割と機能、養護内容・生活環境、専門職としての施設保育士の役割、保育実習の意義、実習の内容と課題の明確化、実習に際しての留意事項、施設での活動を知る(レクリエーション活動、作業活動等)、実習の計画と記録、事後指導における実習の総括と課題の明確化					
事前事後学習						

保育学科 令和8年度シラバス

科目名	ビジネス実務VI			科目コード	51061503	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	3年	後期	35	2	無
授業の概要・目的	子ども福祉に携わる者として必要な専門知識はもとより、社会人として基本的な社会常識や語彙・読解力、ビジネスマナー、コミュニケーション能力が必要となってくる。これまでビジネス実務で培ってきた以上の知識を習得することを目的とし、より実践的な授業を行う。					
到達目標	相手の立場、自分の立場を考えた敬語の使い方が分かる。間違えやすい同音異義語や熟語の読み書き、意味の理解ができる。立ち居振る舞い、言葉遣い等、見られている意識をもった行動ができる。					
評価項目	筆記試験70%、提出物25%、出欠5%					
評価基準	提出期限、試験にて理解度を図る					
担当教員	伊丹 稔博			常勤		
実務経験者による授業						
テキスト・参考文献	これだけは知っておきたい保育のマナーと言葉 第二版 わかば社 これだけは知っておきたい保育の基本養護 第二版 わかば社					
関連科目						
授業計画	個人目標・クラス目標の設定、クラス活動、社会人常識マナー演習、語彙・読解力演習、立ち居振る舞い、言葉遣い、敬語の使い方、就職活動計画、就職活動計画、保育の基礎用語、一般常識、行事、就職対策、敬語の使い方					
事前事後学習						